

蒼空

溝辺中学校進路だより
第26号
令和5年10月17日(木)

先輩講話を終えて

10月14日(土)、溝辺中学校を卒業した4名の先輩を招き、先輩講話が実施されました。中学・高校生活でどのようなことを心がけていたか、進路をどのように決めたか、進路を決めるときに大切にしてほしいこと、中学時代にがんばったことや頑張っておいたほうが良いこと、現在通っている学校での生活などなど、たくさんのお話をいただきました。

年の近い溝辺中出身の話ということもあり、共感できたことや今からの生活に生かせることがたくさんあったと思います。今回の講話が、皆さんのやる気につながったり、心の支えになったりすると嬉しいです。以下、先輩方の講話内容。

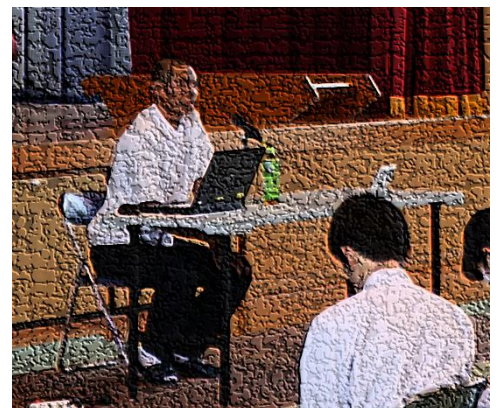
蒲生高校2年 さん

- 親や先生のアドバイスはしっかり聞こう。
- この時期から、学級全体が集中して入試に向けてがんばろうとする雰囲気が出た。
- 受験勉強を早く終わらせたいという理由で、進学先を選ぶと後悔することがある。
- 自分を褒めてほしい。自信がもてること・自慢できることをしてほしい。一番に楽しむことをしてほしい。
- 今の高校に進学しようと思ったのは、体験入学に参加し学校生活のペースが自分に最もあったから。



鹿児島工業2年 さん

- 中2までは高専に進学希望だったが、中3では野球と勉強が両立できる鹿児島工業高校を目標に頑張った。現在は、鹿工野球部の主将を務める。朝6:15に自宅を出発し、7:30に学校に着いている。
- 鹿工卒業後は、就職を希望している。成績が上位なほど希望就職先に決まりやすいので、勉強もがんばっている。
- 勉強は、ON・OFFのメリハリが大事。やる気のある時に集中し、休めるときは休む。
- 工業系に進むなら、数学・物理の勉強が大事。
- 面接ではコミュニケーション能力も大切。(人と話す。自分の意見を伝える。)



鹿屋体育大学 1年 さん

- 野球をしたくて私立高校進学を考えていたが、骨折をして運動ができなかったときに、野球だけではだめだなと思い、自分の進路について真剣に考えた。明確な夢はなかったが、社会の先生になりたいという思いがあったので選択肢を広げるため加治木高校に進学。
- 高校では部活と勉強の両立を意識していた。共通テストに向けた勉強では20時まで残って学習していた。
- 授業に集中し、できるだけ授業中に理解することや宿題を出すことを大切にしていた。
- 大学は自由な時間が多い。夢の実現に向けて選択することが大事。体育の教員免許を取得しようと考えている。
- 今、夢がある人はその目標に向け進んでほしい。夢が決まっていない人は、深刻に考えすぎず興味のあることをがんばってほしい。目標は高くしておくとうい。
- これから進路で悩んだら、自分の決めた道を進んでいこう。



加治木看護専門学校 1年 さん

- 中学校の時は加治木高校に進学するという目標を叶えるため、塾に入り勉強をがんばった。塾では、繰り返し問題を解いたり、分からないところはそのままにせず友達や先生に聞いたりするようにしていた。心がけていたのは、メリハリをつけることや嫌いな教科をつくらないこと。
- 高校は宿題（予習）が多かった。体育大会・文化祭など行事が楽しかった。部活はダンス部に入り、友達が多かった。今でもその友達とは連絡を取り合っている。
- 先生になるか看護師になるかで悩んだが、チューター制度がある現在の学校に進学をした。3年間専門学校に通い、看護師の国家試験に合格し資格をとりたい。
- 進路を決めるときは自分の興味を大切にしてほしい。

